

個人的な施設巡り見聞記・感想

胸部外科教育施設協議会前会長：千原幸司

初夏の総会・学術集会の前には学術集会担当の施設見学、先達は「施設巡り」と呼称、が行われます。当番幹事が協議会の幹事や新進気鋭の若手に施設を案内してくれますが、ツアー参加者は、「最先端の施設や設備とはこんなものか!」、「なるほど、これはいい!」見たこと、感じること、収穫が多い伝統行事です。

このパネルでは、2014年から206年に訪れた施設で見聞きしたこと、感じたことを綴ります。いうまでもなく、これはまったくの管見であり、ましてや、各施設の正確な紹介でもないことをご承知ください。聞き間違えた情報、誤解があるやもしれませんがご容赦を。なお、自ら撮影して写真のほか、施設のご好意によるもの、HPより引用した写真を交えて作成してあります。

2019年10月

2014年：社会医療法人近森病院

当番幹事：心臓血管外科部長 入江博之先生

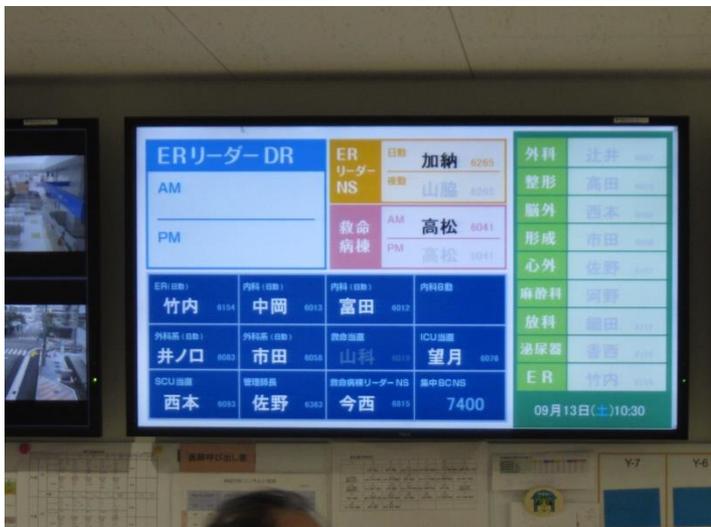
私は平家落人伝説の祖谷から山越えして南国、土佐の高知、新装なった近森病院を訪問しました。

とても深く心に残ったことは、自らが自分の持ち場、職責を担っている、職員の意識の高さとプライド、そして、随所に見られた患者さんへの心配りと働く場の工夫でした。

救急外来で患者さんを診察している研修医は背中にCHIKAMORI RESIDENTのロゴがある診察医を着て、凛々しく、「こんにちは、病院見学に来ました」と、つい軽い口調でやや土足風に入った私は研修指導医から、患者さんのプライバシーを思って、さらっとたしなめられました。見学者に媚びないその姿勢がとてもさわやかで、襟を正す思いでした。

理事長講演は明確なビジョンとリーダーシップの理事長講演を学び、各部署の見学で病院全体のCSCA・TTTがうまく機能しているのを目の当たりにした思いでした。

ER



prehospital モニターと ER
今日のスタッフ



赤の診察室



黄色の診察室



I am CHIKAMORI.

背中撮影は許可をもらっています

急性期



ICU全患者の状態を監視する職員

ICU 患者さんの情報、チームの陣容、一目瞭然



ハイブリッド手術室



私たちが担当します



病院に見舞いに来られたら名札をお付け下さい。急な雨には どうぞ、近森傘



回復期 よっこらしよと 居間、お風呂、の練習

2015年：JA長野厚生連 佐久医療センター 当番幹事：心臓血管外科部長 竹村隆広

医学生の頃、医療社会化の道標—25人の証言、川上 武編(勁草書房、1974)という本を読んだことがありました。故若月俊一佐久総合病院長が、戦前の厳しい時代に若き医学生として思ったこと、医師となって佐久地方の医療を担うに至った経緯、いろいろな思いの述懐の文章も収録されていました。まるで違う時代の私にも心に残っていましたが、折に触れ、静岡から佐久・浅間へ上る道の右手に千曲川沿いの佐久総合病院を見ると、「民衆と直結して、—」という氏の文章のキーワードが思い出されました。

今回、私は佐久医療センターを見学しました。あの川沿いの病院は本院として、そして、訪れた病院は佐久地方の救急・急性期医療および専門医療を担う新しいセンターとしてオープンして間もない最先端の病院でした。信州の山々に囲まれ広々とした敷地、明るく天井が高い1階のエントランス、最新の設備や機器、救急を担う屋上のヘリポート、などを拝見し、時代と地域の医療ニーズに応え、「地域とともに」を形にすれば、このようになるのだな、思いました。

広々とした敷地に機能別のわかりやすい建物



1階
開放的な正面玄関から
入ると患者サポートセンター
JA支所があり野菜あり
カフェ、ひろばも
病院の面目躍如でした
左手にずらりと受付 外来

病棟

図は病院HPより
引用しました

ドクターヘリ



見学ツアーで、ヘリ操縦士が常駐されている、と聞き、広い地域の救急医療をフルカバーする任務の重責を思いました。

平成17年7月から県下初、全国でも10番目のドクターヘリの運用を開始しました。平成26年度は462件の出動がありました。信州大学医学部附属病院に導入されたドクターヘリと協力しながら長野県全体の救急医療の切り札として頑張っています。

病院HPより引用

2016年：医療法人社団 誠馨会 新東京病院
当番幹事：心臓血管外科主任部長 中尾達也先生

JR松戸駅からマイクロバスに乗って、街中を抜けなだらかに続く坂道を登ると病院の駐車場に着いた。病院は、近くに民家やネギ畑がある丘の上にあります。

病院の玄関に入って、一瞬、ここでよかったのかな？ とても静かで病院玄関とは思えないのだが？ホテルの入り口のような錯覚に襲われました。心臓血管外科は言うまでもなく循環器内科も国内有数の診療内容とボリュームであることは知っていたので、さぞや多くの人で混みあって、忙しそうなのだろうと想像していたのですが。聞けば、ここは患者さんが入院して治療を受けるための病院、外来は松戸駅前にある！ 道理で、外来のざわざわした感じがしない！

手術室、集中治療室、病棟、心臓リハビリ室など、循環器治療に特化した施設をめぐる途中、循環器内科がカテーテル治療をしているところも通りました。ん！ 医師は一人で行っている？！ 聞くと、「一人でできないとだめなのです」ぴしっとした説明、さすがです。



病院
エントランスホール

名産の葱畑が
見えるラウンジ 遠望



施設、働いている方を見て感じたこと

Patient first

Perspective

Passion

Professionalism

Pride